

第3回 八代市総合計画策定審議会会議録（要旨）

開催日時	令和4年2月16日（水） 午前10時00分～午前12時00分
開催場所	八代市公民館 1階会議室

■出席者

策定審議員（五十音順）

会 長	川井 健次	委 員	中山 英朗	委 員	白石 秀寛
副会長	田中 裕一	〃	橋本 剛	〃	村岡 正
委 員	有馬 健一	〃	福田 健二		
〃	稲田 卓也	〃	古田 洋二		
〃	岩見 麻子	〃	本田 勉		
〃	植田 浩之	〃	松本 博昭		
〃	植村 光一	〃	丸山 久美子		
〃〃	古閑 啓子	〃	三栗野 恵美子		
〃	徳田 武治	〃	山本 一樹		（委員 20名）

■資 料

資料1 総合計画策定審議会への対応一覧表

【補足資料】別紙1 各施策に関連する主なSDGs

【補足資料】別紙2 指標設定一覧表

【補足資料】別紙3 「八代市を取り巻く社会情勢」の修正について

【補足資料】別紙4 関連する個別計画一覧（案）

資料2 第2期基本計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果

資料3 第2期基本計画（案）

■公開状況 公開

■傍聴者数 0名

■議事録

【会議内容】

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 第2次八代市総合計画第2期基本計画（案）について
 - ・総合計画審議会への対応について
 - ・第2期基本計画（案）に対するパブリックコメント結果について
 - (2) その他
4. 閉会

【発言要旨】

- (1) 第2次八代市総合計画第2期基本計画（案）について
 - ・総合計画審議会への対応について

（事務局）

資料1 「総合計画策定審議会への対応一覧表」別紙1～4で説明。

（質問1：委員）

「別紙2 指標設定一覧表」の4ページ、「授業が分かる」と思っている子どもの割合についてだが、前回私が指摘したことから変わっていない。内閣府の調査結果と大きく異なっている。アンケートの内容を確認したい。

（回答：教育部）

県下一斉で行っている「心のアンケート」結果を反映している。設問は「授業がわかるかどうか」の内容を聞いているもので、それに対して「わかる」、「まあまあわかる」、「あまりわからない」、「わからない」の中から回答を選ぶようになっている。その中で、「わかる」、「まあまあわかる」と回答した児童生徒の割合を、今回指標として設定している。

（意見：委員）

内閣府の調査結果とは乖離した数値となっており、実態とは合わないデータではないかと疑問。

（質問2：委員）

「別紙4 関連する個別計画一覧」について巻末の資料とすると説明されたが、すべての計画が挙げられているのか。

(回答：事務局)

再掲されている計画があり、全体的に整理し直したものを掲載している。また、掲載している計画は、八代市が策定している全ての計画ではない。

(質問3：委員)

資料として、全部を掲載しないとはいかがなものかと思う。ただ、すべてを載せることは紙幅上困難なことは理解している。

別の件で質問したい。「別紙2」の「審議会等における女性委員の割合」について、「女性委員の割合35%」となっているが、八代市の男女共同の会議では40%となっている。これは、下方修正すると理解してよいか。

(回答：市民環境部)

これまで目標を40%と掲げていた。今回、現実的な数値を設定することとし、下方修正した。

<基本計画>について

●基本目標1に関して

(質問4：委員)

33ページの「地域福祉の推進」の施策の内容について、「市民や民生委員・児童委員などの各種団体に研修を行い、地域福祉において重要な役割を担う人材の育成を図ります。」とあるが、「別紙3 八代市を取り巻く社会情勢」の記載内容を考えると、「地域協議会」の研修の機会が必要ではないかと考える。鏡においては、地域協議会、社協、市が協力することで、乗合タクシーの取組みが可能となった。今後、地域協議会の役割は重要となると思うので、地域協議会を明確にしたほうがよいのではないかと考える。

(回答：健康福祉部)

ご提案のとおり、地域協議会を明記するようにしたい。

(意見：委員)

絵に描いた餅にならないように、住民に寄り添って行政をおこなって欲しい。

(質問5：委員)

子ども子育て支援事業計画では貧困対策を推進すると書いてあるが、推進するための計画を作って欲しい。また、29ページの施策の内容の二つ目について、貧困については別の段落にするべきではないか。そして、「子どもの貧困対策」という言葉を入れてもらいたい。

(回答：健康福祉部)

貧困対策の計画は、現状では作る予定はない。子ども・子育て支援事業計画の次期計画を策定する際に、改めて検討したい。「子どもの貧困対策」という言葉については、明記したい。

(質問6：委員)

目標達成のためには、財政支援が必要である。財源的な問題は大丈夫なのか。

(回答：財務部)

市では、総合計画に基づいて、できるだけ多くの目標が達成できるよう予算の配分を考えている。コロナ対策、復興対策を最優先に、スマートシティの推進等もあるので、ポイントを押さえながら予算編成を行っている。計画を達成するために、財政運営を努力している。

(意見：委員)

新庁舎にいくらかかったのか、市民に説明するべきではないか。成果指標についてだが、文化の指標を伝承館の入館者としてよいのか。また、伝承対策は具体的にどうなっているのか。伝承対策は妙見祭に偏りすぎてはいないか。また、合併した6町村への過疎対策も必要ではないか。また、審議する時間が少ないと考える。

(意見：委員長)

計画を策定し、実行することは財政的な制限がある。そうした制限のなかで実現していくものであり、実現していくよう努力していくものである。計画に完全ということはあるが、力を結集してより良いものをつくるのがこの委員会の役割である。計画には優先順位があり、様々ある制約の中でやっていかざるをえない。それを理解してもらいたい。各委員においては、計画がより良くなるよう意見を出していただきたい。

●基本目標2に関して

(質問7：委員)

54ページの「学校教育の充実と教育環境の整備」のところに「八代型小中一貫・連携教育」とあるが、説明がない。また八代型と謳うのであれば、何か指標として挙げるべきではないか。

(回答：教育部)

一般的に小中一貫教育と言うと、同じ校舎内で小・中学校の課程を行うものを言う。「八代型」というのは、これに加え、隣接している場合、同地区内にある場合などがあるが、基本的には、中1ギャップを防ぐため、校区の中で、小中で連携しながら教育を行っていくことを指している。

(意見：委員)

策定することに関わり大変勉強となった。婦人会は、ボランティア精神を養い住民と寄り添いながら活動を行っている。基本計画は我々の指針となるものだと考える。引き続き、地域と一緒に活動していければと思う。

(事務局)

活動に指針となるという発言は、我々にとっても非常にありがたい。引き続き、ご協力をお願いしたいと思う。

(意見：委員)

地域協議会でもできる事を、できる時に、できる範囲内でまちづくりを行っている。

●基本目標3に関して

(意見：委員)

われわれ消防団は、市に対しては、さまざまな要望を聞き入れてもらい感謝している。消防団も「安全・安心・快適に暮らせるまち」を目指し、住民に寄り添って活動していきたい。

(意見：委員)

6ページの校区別人口の推移をみると、過疎地域の推移をみてもわかるよう、人口が減少して住民自治ができない地域がある。これらを踏まえた上で、策定が始まる前に総合計画に対策を載せて欲しいと事務局をお願いした。その際、事務局からは、その件については「八代市過疎地域持続的発展計画」があると説明された。そうした経緯もあり、私は過疎対策については、総合計画には記載はしないが、個別計画で対応するというように理解した。ここで各委員には、今後限界集落が出てくるということをみなさんに認識しておいてもらいたい。

(回答：事務局)

過疎対策については、158ページ「地域資源の活用と観光コンテンツの開発」において分量としては少ないが、市内の全域の均衡的な発展を課題として取り上げ、施策の内容として「地域振興に関する拠点機能の充実と、地域特性や固有の資源を活かした地域振興策について、市民やまちづくり団体と協働で策定・見直しを行い、展開していきます。」と記載している。これ以上の詳しい内容については、「八代市過疎地域持続的発展計画」や各支所での対策を参照することになる。

(質問8：委員)

過疎化の原因は分析しているのか。

(回答：事務局)

地域ごとの原因は把握していない。そこを押さえて過疎対策を行いたい。

(質問 9：委員)

八代市を取り巻く社会情勢のところに、過疎という言葉を入れたほうが良いのではないか。

質問だが、120 ページの「道路環境の整備と計画的な維持管理・更新の推進」に関して、通学路については、整備を行っているのか。

(回答：教育部)

通学路の危険箇所については、学校ごとに把握している。その中で、校区ごとに交通安全指導員、警察、道路の管理者に要望等を行っている。

(回答：建設部)

96 ページの「交通安全施設の整備」の関連で、通学路の安全点検を行っている。特に、交通量の多いところを中心に点検を行っている。それに基づいて、交通安全施設を設置している。また、道路の安全の確保については、住民の要望を得ながら、優先をつけて進めている。また、学校近辺で歩行空間のバリアフリー化を進めている。

●基本目標 4 に関して

(意見：委員)

少子高齢化の中で、離農する人が多くなり、耕作放棄地がみられるようになってきている。その対策として農地バンクの取組を進めている。しかし、条件の良いところは借り手が見つかり、そうでないところはなかなか借り手が見つからない。この農地バンクの事業を積極的に取り組んでいかないと、耕作放棄地が拡大すると危惧している。今後も JA と行政が協力して取り組みを進めていきたいと考える。

(意見：委員)

検討する時間は少なかったとは思いますが、前回商工会から提案したことに対し、短期間の中で何度もやり取りを行い、応えてくれたことに感謝する。

(意見：委員)

観光に関する内容としては網羅されていると思う。先ほど議論となった地域の衰退、過疎化、文化の継承といった問題に関係するかもしれないが、158 ページ「地域資源の活用と観光コンテンツの開発」に「ふるさと納税事業をマーケティングツールとして捉え」という文言がある。DMO でも市と協力しながら、特産品、民芸品等返礼品登録が可能な事業者を増やしており、ふるさと納税の寄付金も伸びている。この用途については、制限はあるが、各地域の事業者の販路拡大、販売促進につながることができ、文化的な課題に対しても基金が活用可能ではないかと考えている。このふるさと納税を活用できる体制づく

り、体制整備を考えたかどうか。関連する観光振興計画においても、このふるさと納税事業をキーワードとして記載してもらいたい。そうすると DMO でも地域にある事業所とも連携でき、地域の活性化、観光の振興につながるのではないかと考えている。

(意見：委員)

林業の振興について、136、137 ページの記載については、感謝したい。林業の状況について書いてもらっている。国・県の補助事業を活用しながら八代の 70% を占める森林を守っていききたい。

(意見：委員)

山・川・海を一体として考える必要がある。そうしたことを教える学校教育が必要ではないか。担い手不足について、総合的に考える学校はできないか。

(回答：農林水産課)

林業教育については、森林体験等を行っているが、担い手を育てていくためには、自然環境を理解している人を育てることが重要だと感じた。提案のあった内容も含めて検討し、本格的な担い手対策を進めたい。また、先ほど議論となった過疎についてだが、坂本地区等の中山間地域の地域振興は、過疎計画の中で、農業、林業の振興に取り組んでいくこととしている。地域産業の振興があって、地域振興、また文化の伝承ができるのではないかと考えている。農地の集約化を進めながら、地域で産業が成り立ち、循環ができる仕組みをつくり、中山間地域の振興を図っていききたいと考えている。中山間地域の農業と林業に対しては、しっかりと取り組まなければならないと認識している。

(回答：教育部)

学校教育のカリキュラムの中では総合的な学習の時間というものがあり、ここでは地域に関することを学ぶことを目的としている。その中で、地域間でのこどもの交流などが行われている。小中学校で、言われたような海・川を含めた山林教育をどのように、どこで行うべきか、考えておきたい。

(意見：委員)

農林水産業については、実態を示すデータを載せてもらいたい。八代全体で考えていく必要がある。

(回答：事務局)

製本する際に、データを付けることにしている。委員の意見を参考にデータを掲載する。

●基本目標 5 に関して

(質問：委員)

173 ページ「地球温暖化対策の推進」のところに「適応」というキーワードを入れていただきたい。

(回答：市民環境部)

原課に持ち帰り、検討したい。

・第2期基本計画（案）に対するパブリックコメント結果について

(事務局)

資料2「第2期基本計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果」で説明。

意見なし。

(2) その他

特になし。

(了)